

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター ガゼルの森		
○保護者評価実施期間	2026年1月14日		2026年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2025年1月13日		2025年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○体制整備整備 ・多職種でチームを組み、多角的な視点をもって、支援、保育を提供している。	○体制整備整備 ・1クラス3名の職員を配置し、より個性の高い支援、保育を提供している。	○体制整備整備 ・より丁寧な保育を提供するためにも、職員の働く環境の充実を図っていく。
2	○適切な支援の提供 ・職員、保護者とも共通の発達指標スケールでアセスメントを取り、話し合いのもと、お子さま一人ひとりの発達に応じた計画の作成に努めている。	○適切な支援の提供 ・ケース会議やクラス会議を通じて話し合いの機会を積極的に設け、一人ひとり5領域に基づいて、アセスメント、計画作成を行っている。	○適切な支援の提供 ・内部/外部研修への積極的な参加を促し、多角的な視点をもって保育に携わる。
3	○保護者への説明等 ・面談を含めできるだけ保護者とのコミュニケーションをとる機会を設け、日々の活動の様子や安全管理等伝えている。	○保護者への説明等 ・日々の活動様子をインターネットを活用し、写真や動画を配信している。	○保護者への説明等 ・保護者同士の関係性構築などの保護者支援、家族支援の強化を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育参観等はあるものの保護者間交流の場が限定的になっている	家族支援に向けた体制構築の不足	お子さまを取り巻く環境の一つとして保護者様の安心が一つの重要な要因ととらえ、ニーズに応じて保護交流の機会を設けていく
2	保護者様を対象とした研修会や情報共有の場が不足している	家族支援に向けた体制構築の不足	保護者ニーズを集約し、必要に応じて研修等の機会を設けていく
3	活動においては地域の方と交流する機会はあるが限定的になっている	地域支援にむけた体制構築の不足	幅広い相談窓口として地域へガゼルの森の役割を周知、啓発する仕組みを検討する